

1 地域循環共生圏とは（第五次環境基本計画）

環境・経済・社会の統合的向上に向けて、各地域が地域資源を最大限活用しながら、自立・分散型の社会を形成しつつ、地域特性に応じて、近隣地域等と共生し、地域資源を補完し支えあうことにより、都市も農山漁村も活かす概念

【キーワード】

地域…集落・街区レベル，市町村レベル，都道府県レベル，流域レベルなど様々な階層の圏域（重層的）

循環…食料，製品，循環資源，再生可能資源，人工的なストック，自然資本等様々な物質が経済社会活動の全段階及び自然界を通じてめぐり続けること

共生…自然と人との共生，地域資源の供給者と需要者という人と人との共生，都市や農村漁村も含めた地域同士の共生



図：地域循環共生圏のイメージ
 (出典：環境省「第五次環境基本計画の概要」)

2 福岡市における地域循環共生圏の考え方

① 現基本計画における地域循環圏

現計画では持続可能な社会に向けた施策の一環として、地域循環圏における資源循環の推進を掲げており、北部九州初の食品リサイクルループの認定を受けるなど、広域による循環圏を構築した。

② 新基本計画における地域循環共生圏

新基本計画では、「重層的な圏域」、「自然，人，地域との共生」といった地域循環共生圏の理念を踏まえ、現基本計画の食品リサイクルループによる広域の循環圏に留まらず、都市の特性と循環資源の性質に応じて、生活圏レベルから県を超える広域レベルまで重層的な地域循環共生圏を構築することを目標とする。

表：福岡市における地域循環共生圏の考え方

都市の特性	地域循環共生圏の方向性	循環資源
【商業都市】 ・消費地であり，製造業が少ない。	・消費した資源を製造地に循環させる仕組みの確立【生活圏～広域】	食品 古紙 プラスチック レアメタル
【コンパクトシティ】 ・都市と農山漁村が近接 ・職住近接	・事業者やNPOも参加した生活圏内での資源循環【生活圏】 ・身近な自然を活用した資源循環【生活圏～市域】	食品
【スタートアップ都市】 ・イノベーションが創出しやすい環境	・シェアリングサービスによる製品の共有に伴う発生抑制【市域】 ・フードシェアアプリを活用した食品ロスの削減【市域】	製品全般 食品